

# 美波

## 議会だより

題字「美波」  
日和佐中学校3年 市村 美奈さん

9月定例会の概要	p4
各議員の賛否	p8
議長・議員の活動報告	p9
一般質問目次	p10
議会だより報告会	p17
あの答弁、ほのあとどないなっとな!?	p20

女性が支える祭り

第54号

2019年（令和元年）9月定例会



議会の詳しい情報が  
閲覧できます。



令和元年11月8日 発行：徳島県美波町議会

## 平成30年度 決算審査（水道事業）

# Cランク滞納者増加、回収進まず

### 監査委員の指摘

適切な対応がされないまま未収金が増加している。

水道事業の公平負担の原則に基づき、悪質な滞納者の根絶、未収金の削減に努め、健全な運営維持を図られたい。

〈平成 30 年 6 月〉

	上水道	未納額
A	19 件	9 万円
B	17 件	23 万円
C	80 件	986 万円
総数	116 件	1019 万円
	簡易水道	未納額
A	23 件	10 万円
B	10 件	34 万円
C	37 件	897 万円
総数	70 件	941 万円

〈令和元年 6 月〉

	上水道	未納額
A	27 件	16 万円
B	16 件	48 万円
C	88 件	1048 万円
総数	131 件	1112 万円
	簡易水道	未納額
A	34 件	19 万円
B	16 件	61 万円
C	42 件	916 万円
総数	92 件	996 万円

（金額は、千の位を四捨五入した。）

**答 弁** 住田水道課長  
30年度に給水停止の措置はしていない。徴収検討委員会の結論が無いので、今まで通りの滞納対策である。年2回の催告書を発送、訪問、催促、集金している。

**質 疑** 北山議員  
昨年、監査委員から給水停止の指摘は実行されたか。悪質な80件に対しての対応は。

	滞納ランク分け基準（水道課内規）	対 応
A	滞納がおおむね1年以内で、連絡がつくもの。	督促の継続
B	滞納が短期・少額で返済意思が確認できないもの、及び長期・高額でも返済の確認できるもの、連絡のつくもの。	督促の継続
C	返済意思のないもの及び完済見込みのないもの、連絡つかないもの。	給水停止・回収委任・債権放棄等検討

**賛 成** 松本議員  
副町長が未収金の滞納委員会を設置し喫緊に対応していくと答弁している。

**討 論**  
**反 対** 北山議員  
水道会計及び簡易水道特別会計で悪質な滞納者の件数が増加し、課長は「滞納対応の結論が出来ていないので、今まで通りの対応のままで」と言い、「健全な運営維持」がされていない。採決には良識ある判断を。

**質 疑** 北山議員  
指摘の「適切な対応がされていない」を説明されたい。  
**答 弁** 多田代表監査委員  
滞納者を色分けしたまま、悪質者の具体的な対応が見えず従来のままなので、「適切に対応できていない」となった。

### 採決結果

認定（賛成8・反対3）

総務産業建設決算審査

# 移住交流事業で6人移住

## ◆一般会計決算

質問 戎野議員

城山交流拠点施設の利用者数、収入額は、

移住交流事業で何人の増加があったのか。

答弁 岸本政策推進課長

利用日数83日、合計利用者数556人で、収入額は32万1000円。

6組7人のうち、6人の方が移住している。

質問 山本委員

ドクダミの作付面積はどうか。

答弁 島村産業振興課長

出荷戸数3戸、面積が17a、総収量は41kg、売上高は2万7000円。

質問 岩瀬議員

防犯灯の位置は住民の要



利用促進が期待される城山交流拠点施設

望だけで付けているのか。

答弁 近藤消防防災課長

新設の場合は住民からの要望によるところが多く、電気代についてはLEDに変えたり新しくした分については、それ以降については町で払う。

文教厚生決算審査

# 入院収益2千2百万円減

## ◆病院事業会計決算

質問 北山委員

病院の入院患者数が1日平均3.8人減、2200万円減収の原因は。

答弁 橋本事務長

日赤や徳大へ送ったこと、人口減少も一因。一人当たりの入院日数が短くなっている。常勤医師を増やさないと入院患者を増やせない。4月から地域包括ケア病床10床をはじめ、今年度は少し増えている。

質問 山本議員

1億円の赤字を出しているが、町の考えは。

答弁 影治町長

一般会計からの繰り入れは、過疎債のソフト分すべてをつぎ込んでいます。医師確保については、徳大地域

枠の学生が医師として美波町にも派遣されることを期待している。

## ◆一般会計決算

質問 戎野委員

国が進めるといふマイナンバーカードと健康保険証との連携はどうなるか。

答弁 南住民生活課長

カードの交付は住民生活課だが、その利用は業務でないので答えられない。国は、公務員に進めている。

質問 丸龍議員

心配ごと相談の委託はどうなっているか。

答弁 大三福祉課長

社協と委託契約して、出来高払いと人件費、必要経費も含めて補助している。

質問 北山委員

地域交流支援センター（由岐）で、子育て支援事業が実施されている間住民が使える部屋がないという話があるが、使えるようにしてもらいたい。

答弁 花木支所長

できるだけ住民が利用できるよう社協と協議する。

質問 岩瀬委員

日和佐公民館のエレベーター工事226万円はどんな工事か。

答弁 山本社会教育課長

耐用年数がきたことによる交換で、日和佐公民館だけ行った。

質問 宮原議員

特定非営利活動法人にかかる債権回収について、当初立替えたとき、今後返還されたときの費目はなにか。

答弁 磯野副町長

当初は置いといて、返還されるときは、一般会計の雑入になる。

# 9月定例会の概要

(9月12日から26日まで15日間開催)

影治町長より6月定例会以降の「諸般の報告」があった。

認定2件、報告3件、条例議案6件、財産取得議案1件、補正予算議案6件の、計18議案の提案理由説明があった。

## ◆専決第11号 谷裏配水池工事の変更契約

令和元年5月9日、送水設備エアチャンバー(約1000万円)を追加。

**質疑** 中川議員  
初めの設計にはなかったのか。

**答弁** 住田水道課長  
設計では水源、送水管の径、配水池の高さも同じであった。しかし、検査したら水撃圧によりポンプやパイプが損傷することがある

と分かったので、9個の空気をとりつけた。

## ◆専決第12号 西町排水機工事の変更契約

令和元年7月22日、ポンプの通報装置など(約450万円)を追加。

**質疑** 中川議員  
初めの設計に入れておくべきではないのか。

**答弁** 岸本政策推進課長  
建設課のパソコンでポンプ管理できるよう変更した。また保守作業の安全の

ためにフタを追加。

## ◆議案第49号 博物館条例の改正

10月の増税に伴い、内税から外税に変える。金額に1.1をかけ、10円未満を切り捨てる。

**質疑** 北山議員  
外税で混乱しないのか。

**答弁** 寺内教育長  
表示は税込みでする。

## ◆議案第51号 会計年度任用職員の給与条例の制定

地方公務員法、地方自治法の改正により、4月から新制度になる。フルタイム職員には給与を、パートタイム職員には報酬を支給する。

**質疑** 山本議員  
新制度で人件費はどうか。

**答弁** 山本議員  
新制度で人件費はどうか。

**答弁** 浜総務課長  
1人当たり年収は10万円程度上がる。現在臨時職員131人のうちパートは32人、来年度は、看護師、保育士、教員をフルタイムで、他はパートで任用する。

## ◆議案第52号 財産の取得(高台整備)

山林、田、宅地約3万㎡を、1260万円余りで買収する。仮契約は済んでいる。

**質疑** 北山議員  
算定根拠はなにか。用地交渉の進捗は。

**答弁** 鶴木建設課長  
大和経済鑑定所に発注。標準地を9か所選び、買収価格を決めている。仮契約4ha、内諾4ha弱、交渉中3.5ha。9割の地権者から内諾(予定額1億5600万円のうち1億4500万円)。

## ◆議案第53号 令和元年度一般会計補正予算

**質疑** 宮原議員  
国の高台整備費が減額されたがその理由は。

**答弁** 影治町長  
高台の社会資本整備総合交付金は、当初6割の補助率であったが、申請する団体が増えて4割に下がっている。残りは過疎債を充てるが、その3割は町負担になる。予算を確保したい。

**質疑** 宮原議員  
プレミアム商品券の4000万円はどうか。

**答弁** 大三福祉課長  
当初予算の1000万円は国の補助金、補正の4000万円は対象者が負担する分、合わせた5000万円は商工会へ渡す。消費されなかった分は返還される。

### 核禁止条約への参加否決

のは当然。被爆国として非核3原則も生まれている。

反対 川尻議員

安全保障上日本国を守る観点から反対。

賛成 北山議員

原爆投下国の国民感情から国会で議論してもらいたい。

反対 舛田議員

核兵器所有国や開発国もある。人口の少ない美波町に請願を求めるのは無理。

反対 寺下議員

この条約が核兵器のない世界の実現に直ちに結びつくとは考えにくい。

#### 採決結果

不採択（賛成3…反対8）

#### 議員定数2削減を否決

国の姿勢に意見を述べる

◆請願第4号 議員定数2削減を求める請願

請願者 田仁理  
紹介議員 戎野博

#### 【請願趣旨】

除斥の対象者が審議・採決する議会には、法令を遵守し、監視機能を果たすことができない。信頼できる議会に変えるために議員削減を求める。

賛成 戎野議員

反対 川尻議員

地域の意見を吸い上げるために議員削減はすべきでない。

賛成 北山議員

監視機能を果たす請願を議論しないのでは住民の信頼を得られない。

#### 採決結果

不採択（賛成4…反対7）

#### 議会は監査委員をチエックできない

◆請願第5号 監査意見書作成の説明を求める請願

反対 丸龍議員  
監視機能・法令を守らない議員は減らしていくという請願はおかしい。

賛成 中川議員

審議が一回1時間で、議論もなく形式的な採決で不採択になった。

賛成 山本議員

定数減では委員会も開催できず、住民の意見も反映できない。

反対 舛田議員

今減らすと次の選挙から減るので時期尚早だ。

#### 採決結果

不採択（賛成4…反対7）

請願者 井筒宗武  
紹介議員 中川尚毅

#### 【請願趣旨】

「監査意見書の作成は、事務方が提案し、監査委員が納得して記載している」との説明は手順が違う。議会としての説明を求める。

●討論  
賛成 中川議員  
審議を尽くせ。

反対 松本議員  
監査委員は独立機関。請願は筋違い。

反対 川尻議員  
監査委員を議会がチエックするのは非常識。

反対 丸龍議員・舛田議員  
議会は監査委員を審査する立場にない。

賛成 戎野議員  
監査委員の報告に請願できないというのは矛盾。

賛成 中川議員  
核兵器禁止条約は人類にとつては画期的である。

賛成 松本議員  
外交は国が決めることでジックリ見たい。

賛成 戎野議員  
国の姿勢に意見を述べる

反対 戎野議員  
国の姿勢に意見を述べる

採決結果

不採択（賛成2…反対8）

4 請願の委員会審議を省略

◆【動議】 請願第6号、7号、8号、9号について委員会付託を省略、

本会議へ

提出議員 松本晋児

賛成議員 丸龍孝敏

●討論

反対 中川議員

本会議だけの審査は乱暴。

賛成 寺下議員

9月の議運で採択している。

(注)【議長に戻す事】

反対 北山議員

議会は丁寧な委員会審議が必要。

賛成 川尻議員

本会議でも同じ。

反対 戎野議員

付託の省略は、住民の請願を踏みにじるもの。

反対 宮原議員

請願の対象議員が、付託省略の動議を提出するのは納得できない。

向山議長

除外という問題があるが、今回の請願は議会全体のこととして全員で審査、採決に加わって頂く。

採決結果

動議可決（賛成7…反対4）

「除外」せず審議、東京研修問題なし

◆請願第6号 川尻議員、寺下議員、松本議員、丸龍議員、舛田議員、向山議員の問責を

求める請願

請願者 井筒宗武  
紹介議員 中川尚毅

議会の冒とくには当たらない。

賛成 中川議員

請願者非難より復命書を議論すべき。

【請願趣旨】

議会が復命書を提出することはないと考える。広報研修参加者から正しい順序を踏まず復命書が出されている。関係者6名の問責を求める。

●討論

反対 寺下議員

職員の旅費規程を準用しており、請願として妥当でない。

賛成 北山議員

請願対象者の除外無しでは、住民に理解されない。

反対 川尻議員

紹介議員が十分把握できていない。

賛成 戎野議員

議員の除外を法のとおりやっつけていくべき。

反対 松本議員

復命書は請願の対象外で、

請願者 井筒宗武  
紹介議員 中川尚毅

【請願趣旨】

平成28年10月27日の鳥獣被害研修は、9月の定例会で議決すべきであった。議会前に議長がこの研修を口頭で許可し、1泊2日の航空券を手配していた。議員派遣について議決を定めた会議規則に違反。広報研修と異なる鳥獣被害研修を許可することは権限を逸脱している。前議長の問責を求める。

●討論

反対 丸龍議員

請願者の解釈で問責を求める請願は妥当ではない。

賛成 北山議員

議長一任は、白紙委任ではない。口頭で了解するべきでない。

反対 松本議員

決算審査で可決している。近隣町村も、一泊二日で研

採決結果

不採択（賛成4…反対7）

議員派遣、「口頭」許可通る

◆請願第7号 前議長

川尻議員の問責を求める請願

修が行われている。

**反対** 舛田議員

松本議員と全く同じ意見。

**賛成** 戎野議員

議長一任以前に、議会で議決できた事実を認めるべき。

**反対** 山本議員

条文に議長一任がある以上、問責は妥当と思わない。

**反対** 岩瀬議員

一応、議長一任は議会で承諾しており、議長に任せている。

**賛成** 宮原議員

事実の認定と会議規則に照らすべき。

**採決結果**

不採択（賛成4…反対6）

**監査意見記載ミス  
問題なし**

**◆請願8号 監査事務局及び監査委員の問責を求める請願**

請願者 井筒宗武

紹介議員 中川尚毅

**【請願趣旨】**

平成29年度の決算監査意見書に数字の間違いがあった。11月末に訂正を求めたが、今年5月末の議会運営委員会まで半年以上放置していた。この原因、責任の所在などを明らかにすることを求める。

**●討論**

**反対** 松本議員

監査委員に議員がもの言うのはおかしいので、請願は筋違いと思う。

**賛成** 北山議員

監査委員は間違いがあれば敏感に訂正をさせる。責任の所

在を明らかにする必要がある。

**賛成** 戎野議員

間違いを直すべきで、議会が困ることではない。

**反対** 山本議員

請願をだすまでもない。

**採決結果**

不採択（賛成3…反対7）

**議員発言の責任は不問**

**◆請願9号 議会運営委員会  
の審査を問う請願**

請願者 井筒宗武

紹介議員 中川議員

**【請願趣旨】**

住民の声を代弁する権限のある議員には、責任を持った発言を求める。

**●討論**

**反対** 松本議員

議会として議員派遣し、調査研修を行う必要がある。

**反対** 舛田議員

的確な請願であってほしい。

**反対** 山本議員

議員の討論に、いろいろ言われると自由な討論が来ない。

**賛成** 北山議員

住民に説明責任を果たすべき。

**反対** 寺下議員

請願の願意が分からない。

**賛成** 戎野議員

議事録に沿って、応えるべき。

**反対** 川尻議員

議会の秩序が保たれない。

**賛成** 宮原議員

議会として謙虚に受け止める必要がある。

**採決結果**

不採択（賛成4…反対7）

**11月の宮城県視察、決まる**

**◆議員派遣について**

**●討論**

**反対** 北山議員

視察研修ありきの視察研修は、住民に理解されないとと思う。

**賛成** 寺下議員

委員会で、行程説明はあった。過疎の進む地方の農村村が抱える課題を調査・研究することは重要と思う。

**反対** 中川議員

費用と研究目的からして宮城県でなければいけないか、近くで美波町に似たところに再考を。

**採決結果**

可決（賛成8…反対3）

### 第3回定例会 ◆各議員の賛否（全会一致の議案）◆

議 案			
報告 9 号	専決処分の報告	議案第53号	令和元年度 一般会計補正予算
議案第46号	印鑑条例の一部改正	議案第57号	令和元年度 後期高齢者医療会計補正予算
議案第47号	職員特殊勤務手当条例の一部改正	発議第 6 号	議会委員会条例の一部を改正
議案第50号	地方公務員法、地方自治法施行にともなう12条例の一部改正		

※議案の名称は短縮してあります。

### ◆各議員の賛否◆ ..... 議長…— 賛成…○ 反対…× 退席…退 除斥…除

議 案	議 員 名	戒	北	川	山	丸	舛	松	岩	向	中	寺	宮	結 果
		野	山	尻	本	龍	田	本	瀨	山	川	下	原	
		博	朝	竹	正	孝	邦	晋	公	篤	尚	博	英	
認定第 1 号	平成30年度 公営企業会計決算の認定	×	×	○	○	○	○	○	○	—	×	○	○	認定
認定第 2 号	平成30年度 歳入歳出決算の認定	×	×	○	○	○	○	○	○	—	×	○	×	認定
報告第 7 号	平成30年度 決算の健全化判断比率	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×	承認
報告第 8 号	平成30年度 決算の資金不足比率	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	○	×	承認
議案第48号	消防団設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	○	○	可決
議案第49号	日和佐うみがめ博物館条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	○	○	可決
議案第51号	会計年度任用職員の給与条例	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	○	○	可決
議案第52号	財産の取得（日和佐地区高台整備事業）	×	×	○	○	○	○	○	○	—	×	○	×	可決
議案第54号	令和元年度 国民健康保険事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	○	○	可決
議案第55号	令和元年度 介護保険事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	○	○	可決
議案第56号	令和元年度 国民健康保険診療所会計補正予算	○	×	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
議案第58号	令和元年度 水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	○	○	可決
請願第 3 号	「核兵器禁止条約の調印・批准をすることを求める」意見書を求める請願	○	○	×	×	×	×	×	×	—	○	×	×	不採択
請願第 4 号	議員定数2削減を求める請願	○	○	×	×	×	×	×	×	—	○	×	○	不採択
請願第 5 号	監査意見書作成の説明を求める請願	○	退	×	×	×	×	×	×	—	○	×	×	不採択
動 議	請願第 6 号、7 号、8 号、9 号について委員会付託を省略、本会議へ	×	×	○	○	○	○	○	○	—	×	○	×	可決
請願第 6 号	川尻議員、寺下議員、松本議員、丸龍議員、舛田議員、向山議員の問責を求める請願	○	○	×	×	×	×	×	×	—	○	×	○	不採択
請願第 7 号	川尻前議長の間責を求める請願	○	○	除	×	×	×	×	×	—	○	×	○	不採択
請願第 8 号	監査事務局及び監査委員の間責を求める請願	○	○	×	×	×	×	×	×	—	○	除	×	不採択
請願第 9 号	議会運営委員会の審査を問う請願	○	○	×	×	×	×	×	×	—	○	×	○	不採択
議 員 派 遣 に つ い て		×	×	○	○	○	○	○	○	—	×	○	○	可決

※議案の名称は短縮してあります。



議長・議員の主な活動状況

(令和元年6月定例会～9月定例会)

- 6月25日 議会だより報告会(西新町)
- 6月28日 議会だより(恵比須浜田井)
- 7月4日 宮城県松島町議会来町(サテライトオフィスの視察)
- 7月10日 町村議会広報クリニック(東京)
- 7月11日 議会運営委員会
- 7月16日 議会広報特別委員会
- 7月29日、8月3日、7日、8日、16日、19日、20～22日、26～27日、議会だよりの編集作業
- 7月18日 全員協議会
- 7月18日 防災高台対策特別委員会
- 7月22日 議会だより報告会(奥河町)
- 7月24日 部落差別撤廃・人権擁護審議会
- 7月26日 議会運営委員会
- 7月29日 議会だより報告会(東由岐)
- 7月29日～30日 議会議員研修(滋賀県)
- 8月2日 徳島県町村議会議長会定例会

- 8月5日、広島県竹原市議会来町(サテライトオフィスの視察)
- 8月6日 海部郡消防組合に関する協議会
- 8月10日 香川県三豊市たくま港まつり
- 8月19日 徳島県南部地区四国横断自動車道建設促進期成同盟会総会(阿南市)
- 8月20日 議会だより報告会(天神町)
- 8月22日～27日 美波町・ケアンズ市姉妹都市締結
- 8月23日 50周年記念海外派遣事業
- 8月28日 町村議会広報紙作成講座(徳島市)
- 8月30日 愛媛県宇和島市議会来町(事前復興計画について視察)
- 8月31日 復元計画について視察)
- 9月1日 総務産業建設常任委員会
- 9月3日 議会運営委員会
- 9月5日 徳島県総合防災訓練(阿南市)
- 9月6日 海部郡防犯連合会総会
- 9月6日 議会運営委員会
- 9月6日 海部郡衛生処理事務組合議会全員協議会

議長の一言

町民福祉の視点に立って

議会は、災害時にはその役割を果たし、平時には、過疎化・少子化対策の推進など、行政と共に町民の福祉の向上を目指すとともに地域の発展に努めなければなりません。そのためには存在感のある議会として常に議員が研修や研鑽を積み、信頼される議会となる必要があります。

前回の議会広報(第53号)においてその一部紹介させていただきましたが、先進地議会では、本来、議会のあるべき姿や、町民のための議会として、また信頼される議会を目指す。その取り組みを行っています。

我が町にも、以前には議会改革・広報特別委員会を設置した時期もありましたが、広報(議会だより)の編集作業に時間を要してしまつた結果になりました。町民から選挙で選ばれた12名の議員の町民福祉の向上に向けての考え方や手法に違いがあつても、これからも議会がワンチームとして、なお一層連携をとり町民福祉の向上に取り組むことが求められています。

私自身も、初心に帰ってその環境づくりに努めたいと思います。

## ⑥人の議員が 町政をチェック

### 一般質問

(登壇の順で掲載)

寺下議員	①小・中学校の教育現場の現状は ②職員の安全対策と地域の見守りへの取り組みは ③ブロック塀の撤去等にかかる補助金制度の現状、今後の取り組みは	p11
宮原議員	①高台整備をどう説明してきたのか。事業計画とその効果を示す時ではないか ②「旅費は認められない」とした指摘が「手続き上の不備」とする根拠は	p12
北山議員	①特定空家個別事案の進捗状況は	p13
戎野議員	①えびす避難タワーの雨水侵入対策を ②井ノ上の老人ルームを氾濫時の避難場所として改修利用できないか	p14
山本議員	①働き方改革の取り組みは ②森林環境譲与税の動向は	p15
中川議員	①新任用制度でどう変わる ②町内の医療機関で医薬品に差がある ③保育教育無償化で負担増は	p16

※全文を記載した議事録は町のホームページでご覧ください。

一般質問とは、町のさまざまな課題について議員が町に考えを聞く質問のことです。

議員は年4回開催される定例会において、政策提言も含めて質問をすることができ、内容は自由です。

質問と答弁がかみ合うよう事前通告制となっています。

## スマホで 議会を見よう。

スマートフォンで美波町議会の“白熱”議案審議、一般質問、議事録を見ることができるようになりました。

①表紙のQRコードの読み取り

②町議会のホームページ

③「町議会インターネット中継」

→詳細→「録画配信はこちらから」

④「令和元年」→9月→9/26(議案審議)→動画再生



※一般質問は質問者横のQRコードから動画再生が出来ます。※視聴には通信料がかかりますのでご注意ください。

# 一般質問

## ①小・中学校の教育現場の現状は

**弁** 児童生徒の学ぶ権利が十分保障されるよう取り組みでいきたい



寺下 博子 議員



録画配信中

**質問** 学力向上についての基本的な考え方とこれからの取り組みは。

●答弁 寺内教育長

基礎基本をしっかりと身につけさせるため、児童生徒が興味を持ち、主体性を

**弁**

先進事例を確認し、本町でも活用できるのであれば、検討を進めたい

**質問**

公用車の台数とドライブレコーダーの搭載状況は。

●答弁 浜総務課長

日和佐地区57台、由岐地区13台の計70台。うち、ドライブレコーダー搭載車は10台。今後は、新規購入車両は搭載し、既存の車両は車検時に合わせ搭載することを検討したい。

**質問**

ドライブレコーダーを活用した、地域の見守り体制への取り組みを考えてはど

助制度の現状は。

●答弁 近藤消防防災課長  
平成29年度から消防防災課所管では、補助率は3分の2以内で、1敷地につき上限15万円。申請者は、ブロック塀及び土地の所有者か、町内会、自主防災組織。また、建設課所管で、撤去のための補助制度があり、補助率は5分の4以内で、上限8万円。

●答弁 浜総務課長  
先進事例を確認し、検討したい。

## ③ブロック塀の撤去等にかかる補助金制度の現状、今後の取り組みは

**質問**

ブロック塀の倒壊により避難路をふさぐことも考えられるが、今後の取り組みは。

**答弁** 今後も、補助金制度の充実を図っていき

**質問**

ブロック塀の撤去等の補

●答弁 近藤消防防災課長  
事前復興まちづくり計画等、地域の方で様々考えていただき、町としても補助金制度の充実を図っていき

**1** ①高台整備をどう説明してきたのか  
 ②事業計画とその効果を示す時ではないか

**弁 答**  
 ①30年度は説明会等開催していない  
 ②詳細設計が整えば紹介する



みやはら ひでお 議員  
 宮原 英夫



録画配信中

**質 問**

日和佐地区高台整備事業は、説明資料等が誤っており、正確な説明がされていない。30年度以降、町民にどのように訂正してきたのか。

●答弁 鶴木建設課長

日和佐こども園の津波浸

水予測は、最大値4mを用いてアンケートをした。30年度には説明会等は開催していない。

**質 問**

公園用地の取得にかかっているが、具体的な説明がない。事業の計画とその効果を町民に示す時ではないか。

●答弁 鶴木建設課長

整備計画の具体的な内容は、詳細設計が整えば広報誌や町ホームページ等で紹介する。

**質 問**

日和佐こども園の高台移

転に関するアンケートで、被害想定地図では2.7m・16分と表示されている。しかし、このアンケートの間では4mの津波浸水が予想されるとしており、誤っている。30年度

には説明会等していないのであれば、誤った説明のままで訂正されていない。町民に正しい情報を提供し、町民参加のもとで事業を進める姿勢がないことには疑問である。

**2** 「旅費は認められない」とした指摘が「手続き上の不備」とする根拠は

**弁 答**  
 文書がないため必要性が判断できないと言う、事務手続きの不備を指摘したものと考える。

**質 問**

広報研修の旅費の支出が認められないとした指摘が放置されている。「必要性が明確でない旅費の支出は認められない」とした指摘が、なぜ「手続き上の不備」と解釈できるのか。

●答弁 多田代表監査委員

文書が整備されていないので必要性が判断できてい

**質 問**

「旅費の支出は認められ

ない」とした指摘したことが、「命令簿等の整備」であれば同じことを二重に記載する必要はない。素直に「支出は認められない」と解釈するべきである。監査は、今回の議員派遣が適法かどうかを判断するべきで、答弁では監査の役割が果たされていない。

●答弁 多田代表監査委員  
 今回の旅費の支出が適正であったとは思っていない。手続き上の瑕疵があったことは明かで、直すべきこと。有害鳥獣被害対策の研修は必要で、議長の口頭による許可もあったことから公務による出張と考えている。ただ、手続きを踏むことは重要なこと。

**質 問**

監査の基本は議員派遣が適法かどうかである。議長の口頭による許可等が適法かどうか疑問であり、詰める必要がある。

# 1 特定空家個別事案の進捗状況は

**弁 答** 特定空家認定に向け、相談をかけた状況を見ています



あさひこ 北山 朝彦 議員



録画配信中

## 質問

特定空家で、町から「独自の判断基準を作る」「除却対象70件の所有者を特定する」「空家対策協議会で特定空家に認定する」「町から除却の助言・命令をする」「最悪、代執行の手続きをとる」と昨年の9月定例会で答弁している。また、令和元年8月29日の特定空家対策審議部会では、特定

## ● 答弁 鶴木建設課長

平成31年4月1日に特定空家の認定判断と指導助言を目的に特定空家等審議部会を設置し、第1回の審議会では、特定空家候補2件提示し写真による現状把握と今後のスケジュールを協議、今年度中の認定に向け審議部会を開催する予定とした。実施運用マニュアル

は、2月5日の第1回空家対策協議会で承認され4月1日から運用を開始している。特定空家の判断基準は、保安・衛生・景観・生活環境の保全の観点から判断基準表を作り、どの項目に該当するか調査している。この判断基準表は徳島県のマニュアルにはない。特定空家の認定作業の遅れについては、マニュアル等の作成、所有者の特定や意向調査による。

## 特定空家の状態

- ① 放置すれば倒壊著しく保安上危険となる状態。
- ② 放置すれば著しく衛生上有害となる状態。
- ③ 適切な管理が行われず著しく景観を損なっている状態。
- ④ 生活環境の保全のために放置することが適切な状態。

## 質問

一般質問で提案した個別事案の審議結果等は、どのようになっているのか具体的に説明されたい。

## ● 答弁 鶴木建設課長

審議部会で審議した2件については、現在特定空家認定に向けて進めていくところで、所有者と思われる方々に対し写真を添え除却も含め相談したいとの内容で通知している。その状況を見ながら今後進めていきたいと考えている。又、個別案件の提案を受ければ、状況に応じ審議部会に諮り特定空家の認定に向けて作業を進めたい。



審議部会で協議された2事案

①えびす避難タワーの雨水侵入対策を

弁 不具合が生じた場合は自主防災会と協議しながら改善策を検討したい



えびすの 戎野 ひろし 議員



録画配信中

質問 自主防災会及び町内会からも避難ビル、居室化を希望した津波避難タワーを要望してきたが出来上がった避難タワーの3階避難スペースに側面腰高開口部（幅4.6m×高さ1m）4カ所及び西側出入口（4.7m×2m）と屋上階段開口部が大きく開いており、雨水が侵入し避難してきても横にも

なれない。風雨よけビニルカーテン取り付け可能の対策をしているが金具が室内側にあり雨水が侵入しており、階段天井テント取り付けも高齢者には重く外部金具取付も危険である。

側面開口部にアルミサッシ窓を後付けし、避難スペースの改善を図れないか。階段天板をアルミ板等で覆うことで雨水が落ちてこないように改善すべきではないか。

●答弁 近藤消防防災課長 津波避難タワーは津波から一時的に避難する場所であり、避難困難者の避難場所である。風雨対策として開口部をビニルカーテンで覆う方法をとっており避難

者でカーテンを張っていた。雨風の侵入状態を確認しながら検証し、避難スペースとしての不具合が生じた場合は自主防災会と協議しながら改善策を検討したい。

協議しながら改善策を進めたい。

屋上への天井開口部の改善については屋上の手すりの強度などを検討し、自主防災会と



屋上から雨水が降り注ぐ

②井ノ上の老人ルームを氾濫時の避難場所として改修利用できないか

答 弁 高台にある老人ルームは土砂災害の危険性があるので避難場所とするかどうかは町内会と検討したい

質問 集中豪雨時、北河内谷川の越水、氾濫により、避難場所になっている井ノ上公会堂や教育センター1階が冠水して避難できないし、危険で使えない状況が考え

られるが対策として地域の高台にある平屋の老人ルームを浸水時の避難場所として改修して利用できるような取り組みはないか。

●答弁 近藤消防防災課長 北河内谷川が重要河川となっており浸水想定区域



大きく開いた開口部

の指定がない。現在、井ノ上地区では井ノ上公会堂が津波災害と土砂災害時の避難場所として、井ノ上教育センターが地震災害時の避難場所として指定されている。高台にある井ノ上老人ルームは土砂災害の警戒区域にも指定されており危険性があるので避難場所とするかどうかは町内会の意見を聞いて良い方向で検討したい。

## ①働き方改革の取り組みは

**弁** 事務効率の向上を図り、時間外勤務の抑制に取り組み



やまもと まさお 議員  
山本 正男



録画配信中

員の負担軽減を図り、宿日直前後の不在時間解消により住民サービスの向上にも繋がるのではないかと。緊急時の課題も考えられるが、県内合併市町で人件費減が最少と指摘されているが、どのように取り組むか。

●答弁 浜総務課長

**質問** 働き方改革関連法を受けて、本町においては働き方改革をどのように取り組んで行くのか。又その課題、対する対策は。合併等による年齢層の偏在はないのか。職員の出勤時刻記録は。宿日直業務の外部委託を含めての見直しについては、職員意向調査等を行い、職

働き方改革方を受けて、なお一層の事務効率を図り、課題である時間外勤務の抑制に取組み、年次休暇の取得の取り組みについては、平成30年度で1人約13日取得されており、創意工夫を凝らしながら課題対策を図り、年齢層の偏在は20歳代から30歳代の職員数の割合が10%台と低い状態であり、出勤に際しては総務

課に備えている出勤簿に押印するが、出勤時刻については管理していない。

日直業務は本町2名支所1名で勤務しており、見直しについては職員の意向調査等は今のところ考えていないが、職員の負担軽減と

住民サービスの低下の恐れがあることを合わせて慎重に考える課題と想っている。

人件費削減が最少は、当町は2町合併で職員の削減可能数が少なかったことが要因と考えている。

## ②森林環境譲与税の動向は

**弁** 森林所有者対象に今後、経営管理意向調査票を発送する予定としている

### 質問

年2回に分けての譲与と  
言われているが、美波町へ  
の本年度分の譲与額はいく  
らか。さらには形態はどの  
ようなものか。今後の動向  
は。

ないが、配分額は1007  
万円の見込み。

令和元年7月設立された  
徳島南部地域管理センター  
協議会への負担金及び森林  
整備担い手対策等に使う予  
定。今後10月に経営管理意  
向調査票を発送する予定と

●答弁 島村産業振興課長  
2024年から市町村が  
個人住民税と合わせて年額  
千円を賦課徴収することと  
しており、まだ確定額では

しており、順次地域説明会  
を開催したいと考えている。

### ●答弁 影治町長

譲与税については、始  
まったばかりの制度であり、  
予算組み、執行する中で問  
題があれば、関係自治体と  
連携して取り組んで行きた  
い。



### 1 新任用制度でどう変わる

答 弁

休暇等は正規職員に準じる



なかがわ なおき 中川 尚毅 議員



録画配信 中

**質 問**  
来年4月に始まる会計年度任用職員制度では、フルタイムとパートタイムがあるが、どう違うのか。

●答弁 浜総務課長  
フルタイム会計年度任用職員は、勤務時間、休暇、勤勉手当以外の手当等は正規職員に準じる。給料は、再度任用された場合には経歴を考慮して昇級するよう

規則で定める。  
パートタイム会計年度任用職員は、勤務時間は1日7時間程度で、休暇は正規職員に準じる。報酬は規則で決めるが、昇級はない。新制度による任用は基本的にパートタイムで、フルタイムは看護師、保育士、教員を考えている。

### 2 町内医療機関で医薬品に差がある

答 弁

薬の種類も多く共通化は難しい

**質 問**

日和佐診療所は、美波病院にある大きい湿布薬がなく、小さいものしかなく、しかも負担額も異なる。同じ町内の医療機関で医薬品は統一できないのか。

●答弁 武田診療所事務長

現医薬品は、医師からの申請に基づき購入し、同じ効果の薬は1種類にしていく。病院と診療所での薬品の共通化は難しい。

### 3 保育教育無償化で負担増は

答 弁

新たな負担はない

**質 問**

10月1日から保育教育の無償化が実施されるが、副食材料費が実費徴収となり保護者負担の増加にならないのか。また、利用料を滞納した場合に利用継続の可

否等を検討することになるが、こども園の負担にならないか。

●答弁 大三福祉課長

3〜5歳児の幼児教育、住民税非課税世帯の0〜2歳児保育の無償化が実施さ

れる。副食材料費は無償化の対象外とされたが、美波町は平成28年度から利用者負担を第2子以降無料とし、給食費もすべて無償化しており新たな保護者負担はない。利用者負担額は、保育士が保護者から集金している。利用費の督促にいたるケースは今までなかった。



# 議会だより報告会

令和元年7月22日(月)  
19:00～21:00



住民出席者8人  
議会出席者7人  
(向山議長、広報委員全員、豊崎事務局長)

令和元年7月29日(月)  
18:00～20:00



住民出席者12人  
議会出席者7人  
(向山議長、広報委員全員、豊崎事務局長)

奥河町公民館		東由岐公民館	
出席者からの意見・質問	対応・回答	出席者からの意見・質問	対応・回答
○介護タクシーの補助はあるのか。	利用者には、介護保険制度による負担をしてもらい、制度外の補助はない。 (福祉課)	○日和佐まで行くのが大変なので、老人大学等の会を由岐地区と日和佐地区で開催してもらいたい。	現在、由岐からの参加者はマイクロバス1回で送迎し不足の場合は公用車で対応している。 (教育委員会)
○溝掃除のため側溝のフタを軽くしてもらいたい。	要望箇所を確認の上、修繕対応に努める。 (建設課)	○美波病院予約を電話でできないか。また、診療待ち時間の短縮ができないか。	日時、診療内容によりますが電話予約は、前向きに検討する。診療設定時間を超える場合や急患、体調不良の方等で待ち時間が長くなることもある。職員間協議で待ち時間短縮に取り組む。 (美波病院)
○議会報告会(意見交換会)でテーマを限定せずにしてもらいたい。	有意義な会として開催できるように検討中である。 (議会議長)	○避難所計画はどのようなになっているのか。	避難所は、現在美波町地域防災計画で37か所を指定避難所としている。今後、避難所として備品等の整備や機能の充実を図りたい。 (消防防災課)
○高台整備事業等で補正予算の事業費の増額が多すぎる。議会のチェックが甘いのでは。	補正予算で増額したことはない。(町長) 事業費の変更は、各事業について説明を受けており必要と認めている。 (議会議長)	○タクシー会社一社で、多くの事業を運営できるのか。	現在のところ、本町の委託事業に問題は発生していない。 (総務課)

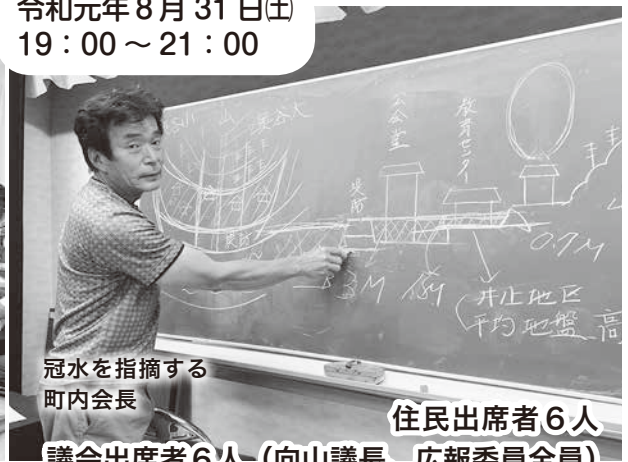
# 住民に返す - 議会だより報告会 -

令和元年8月20日(火)  
18:00 ~ 20:00



住民出席者 10人  
議会出席者 6人  
(広報委員全員、豊崎事務局長)

令和元年8月31日(土)  
19:00 ~ 21:00



冠水を指摘する  
町内会長  
住民出席者 6人  
議会出席者 6人 (向山議長、広報委員全員)

## 天神町集会所

## 井ノ上公会堂

出席者からの意見・質問	対応・回答	出席者からの意見・質問	対応・回答
○診療所、公園等の草刈りはどのようにしているのか。	診療所はとみた県南コミュニティケアセンターと草刈り契約している。(健康増進課) 公園等については住民生活課作業班が主に草刈りを行っている。(教育委員会)	○井ノ上公会堂と教育センターが冠水の恐れがあるので、老人ルームを町民館とし、避難所指定をして改修して欲しい。	土砂災害の危険があるので町内会と検討したい。 (一般質問回答 p14参照。) (消防防災課)
○台風等自然災害時に隣保館を使用できないか。また、公共施設に公衆電話を設置できないか。	現在、美波町地域防災計画で、日和佐隣保館は地震災害と土砂災害時の避難所として指定している。(消防防災課) 現在設置予定はない。 (住民生活課)	○北河内駅前(2号線)道路を拡幅してもらいたい。	本村2号線の改良方策は、今後検討する。 (建設課)
○自然災害時に天神地区に隣接する日和佐川の堤防が決壊しないか不安。調査をしてもらいたい。	管理者の徳島県に対し、安全管理・耐震対策等の要望を行う。 (建設課)	○町職員が多すぎるのではないか。	職員数については適正であると考えている。 (総務課)
○高齢者が多いため、避難等使用の車を集会所に設置してもらいたい。	消防防災課と検討する。 (教育委員会)		
○介護保険料が高くて重荷になっている。下げてもらえないか。	本町は、国が示す9段階保険料軽減を適用している。介護保険基準額は9年間据え置き、県下でも下位にある。(福祉課)		

# 住民の生の声を町に伝え

令和元年9月25日(水)  
19:00～21:00



住民出席者11人  
議会出席者5人（広報委員全員）

令和元年9月27日(金)  
19:00～21:00



住民出席者8人  
議会出席者6人  
（広報委員全員、豊崎事務局長）

寺込公民館		本町集会所	
出席者からの意見・質問	対応・回答	出席者からの意見・質問	対応・回答
○日和佐城改修中の看板を登り口で分かるようにしては。	登り口に「長期閉館中」と書いた看板を設置した。（産業振興課）	○自然災害等でJRが運休の場合、DMV（線路と道路が走行できる車両）で代行できないか。	運行経路の変更は、運輸局の認可が必要であるため、代行運行は難しい。（総務課）
○高齢者の願いとして、「テレビ中継」を早くしてもらいたい。	議会内で賛否両論があり、今後の課題。（議会議長）	○野良ネコの糞尿対策を条例化できないか。	「家庭動物等の飼育及び保管に関する基準」で、犬の基準は示されているが猫の基準はない。野良猫は飼い主がいなくて指導できない状況。これ以上野良猫を増やさない啓発と餌をやらさないよう指導していくのが得策と考える。（住民生活課）
○住民の発言を、職員が無断録音している。やめてもらいたい。	そのような事例は把握していない。（総務課）	○公共下水道を早く進めてもらいたい。	本町地区の公共下水道は、令和元年度に詳細設計を終え、令和2年度から工事着手の予定。着手前に、対象地域の住民説明会を予定している。（建設課）
○有害鳥獣の処分に困る。処理施設は出来ないか。	多くの捕獲員は、自分の所有地に埋設している。今のところ処理施設を作る予定はない。（産業振興課）	○旧水産高校グラウンドを硬式野球に使えないか。	現状は、主にサッカー使用の施設として整備されているので、野球用のフェンスやピッチャーマウンドもなく公式野球には適さない。（教育委員会）
○行政改革（議員・町職員の削減）に取り組んでももらいたい。町外在住の町職員が多くなりつつある。	職員数については適正であると考えている。職員の居住地に制限は設けていない。（総務課） 議員定数は総合的に現状維持が望ましい。（議会議長）		

# 「あの答弁、ほのあとどないなっとな!?!」



## 〈6月定例会一般質問より〉



質問議員・質問内容	答 弁	現状と質問者の想い
<b>舩田</b> ワールドマスタースゲームズの取り組みは。	実行委員会を立ち上げ、大会を成功させたい。	9月25日に実行委員会が発足。今後町民に協力依頼と周知を図る。
<b>寺下</b> 「谷屋」の具体的な進捗を知りたい	今後も、月1回検討会を実施し、活用や運営方法について検討する。	近隣町内会や関係団体が新たに加わり検討会を行っている。保存改修工事は、年度内完了に向け取り組んでいる。
<b>宮原</b> 住民意向調査の回答分析（5段階評価）は高台整備への誘導ではないか。	住民が今後どのような事業を要望しているかを見るため、5段階で評価した。	とても重要を5点、全く重要でないを1点とした分析は、合理的でない。訂正すべきでないか。
<b>北山</b> 奨学金制度で人材を町に留める施策を。	教育委員会としてしっかり考えたい。	「制度の公平運用が重要と考え、過疎対策の償還金減免制度は見送った」、美波町には過疎対策が重要、政策の統一性を。
<b>戎野</b> し尿処理施設を廃止し、日和佐浄化センターに統合できないか	下水道への接続は衛生組合の問題で、答えられない。	将来展望を考え公共下水道へ統合し、町負担を軽くして郡内処理も統廃合すべきである。
<b>山本</b> 持続可能な稲作農業への取り組みは。	生産者、JAと協力体制を取り、国の政策動向を踏まえ、持続可能な稲作農業に取り組みたい。	赤松地区において、複数回会議を開催し、営農継続と保全管理等の課題解決を進めている。
<b>中川</b> 返還金700万円の時効はいつか。	来年3月4日が時効成立日。	「債務者には依頼している」詳細は個別に聞く。

# 着実に進む議会と 広報の活性化



- ◆意見交換会… 40%の町村議会で実施
- ◆議会基本条例… 33%の町村議会で制定

## 1 全国議会広報の動き

項目	町村議会	市議会	備考（町村分）
広報紙の発行状況	96.4%	98.7%	
うち 議員のみで制作	31.2%	7.2%	
議員+事務局	63.9%	82.1%	
意見交換会の開催	39.6%	53.7%	2012年比 1.5倍
議会モニター・アドバイザー	66議会	25議会	前年比 17議会増
広報の常任委員会化	23.0%	6.1%	
議会基本条例の制定	33.0%	60.8%	前年比 16議会増

研修会資料から作成（町村は2018年7月、市は2017年12月現在）

## 2 広報クリニック（県内）【吉村潔講師の評価】

### ① 美波町議会だより（第52号）のクリニック

- 表紙の題字「美波」は、地域の人の参加が良い
- 表紙の写真のコメントは理解を促す
- 議案○号のみの記載でなく、内容説明が必要
- 「議長の一言」は、10年、20年先のことを考えるのは良いこと。住民と共にの発想が必要
- 一般質問の見出しが少し長い。本文のまとめは良い
- 「住民の要望・意見交換を協議」は議会の対応が住民に伝わる
- 全体として読みやすい

### ② 他町の広報誌

- 【かつらぎ議会だより】  
一般質問の目次を質問の項目ごとに行っているが議員ごとよりベター
- 【かみやま議会だより】  
写真が少ない。議案の一覧より審議を入れた方が良い
- 【海陽町議会だより】  
主な事業の説明で、事業ごとの写真があるのはわかりやすい

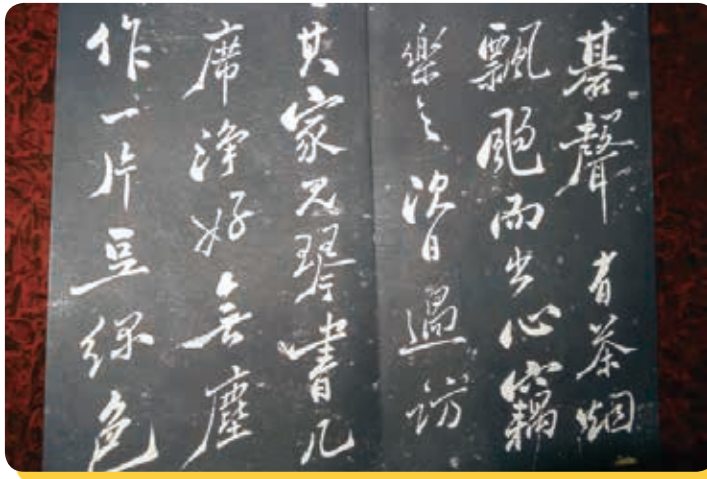
広報研修会：徳島県町村議会議長会主催（8月23日、徳島市）  
参加者：北山委員長、戎野副委員長、宮原委員、中川委員、山本委員



# 我が家 & 私の宝物



## ていばんきょう 弟がくれた鄭板橋の拓本



これは、鄭板橋（1693～1765）の書の拓本で、たて30cm横20cmに折りたたんだものです。鄭板橋は、中国（清）の文人・画家・書家で、詩も多い。彼の書体（筆遣い）が独特で、私も大変気に入っています。小坂奇石のように人気が出て来ています。

この拓本は、王羲士の拓本、端溪の硯とともに、弟が私の退職記念として贈ってくれたものです。弟は、私の8歳下で、私が子守りをしてかわいがっていました。私は、40歳で書道をはじめ、原田観峰先生（福岡県）に師事して5段になりました。私の退職時に、商社に勤めていた弟が中国の端溪で買って、送ってくれました。私が大事にしている品物の中でも、この拓本は特に思い出が深いものです。



奥河町  
福島 敏夫さん（82歳）

### 編集後記

9月議会は町民からの「請願」が7件あったので少ないページに入れるには大変苦労した。今期より「議会だより」のQRコードを作り、直接、議会の議案審議や各議員の一般質問を見ることが出来るようになったので、住民の願いがどうなのかをぜひ、スマホやパソコンで覗いてほしい。

同様のことを誰でもが家庭のケーブルテレビでいつでも見れるようにするのが行政・災害・生活情報を中心とする「テレビ中継化」の取り組みである。住民優先の議会でありたい。

広報副委員長 戎野 博

### ● 議会広報特別委員会 ●

〈委員長〉北山朝彦 〈副委員長〉戎野 博  
〈委員〉宮原英夫 中川尚毅 山本正男

お問い合わせ・ご意見は TEL：77-3630

徳島県海部郡美波町奥河内字本村18番地1  
E-mail：gikai@minami.i-tokushima.jp